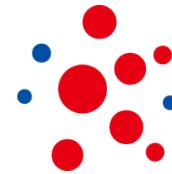


# 中期経営計画

2026年3月期-2028年3月期

Code:6912

2025年5月

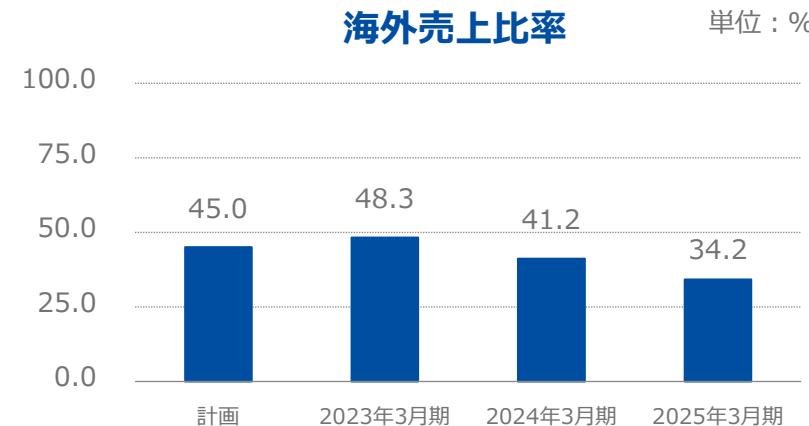
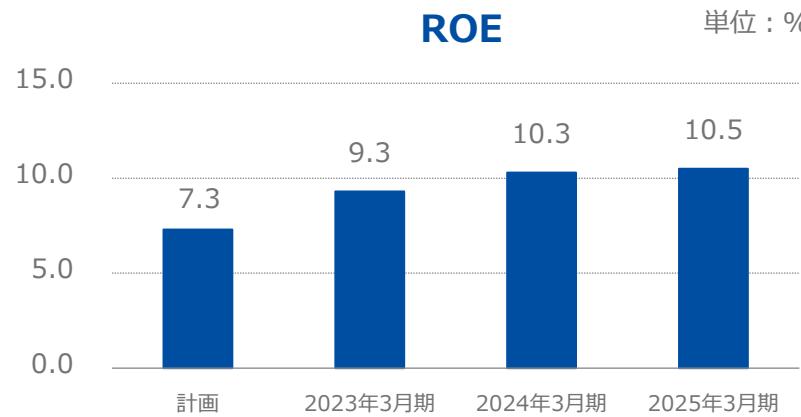
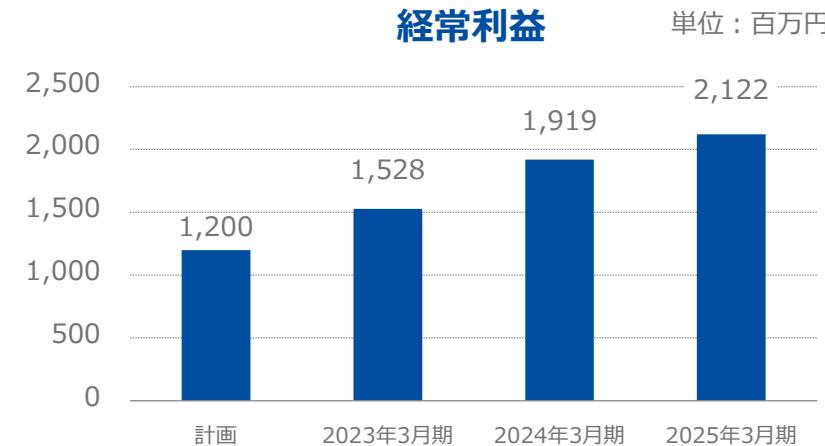
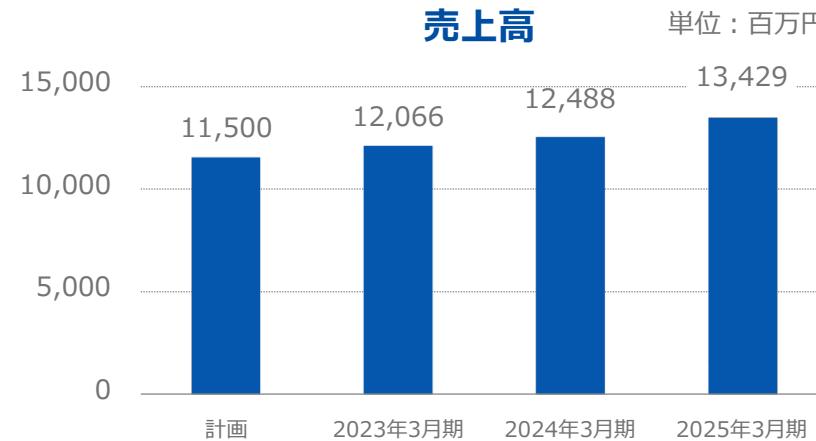


**KIKUSUI HOLDINGS**  
菊水ホールディングス株式会社

私たち菊水は  
自由で豊かな発想と 行動力で“創発”し  
社会と共に進化します



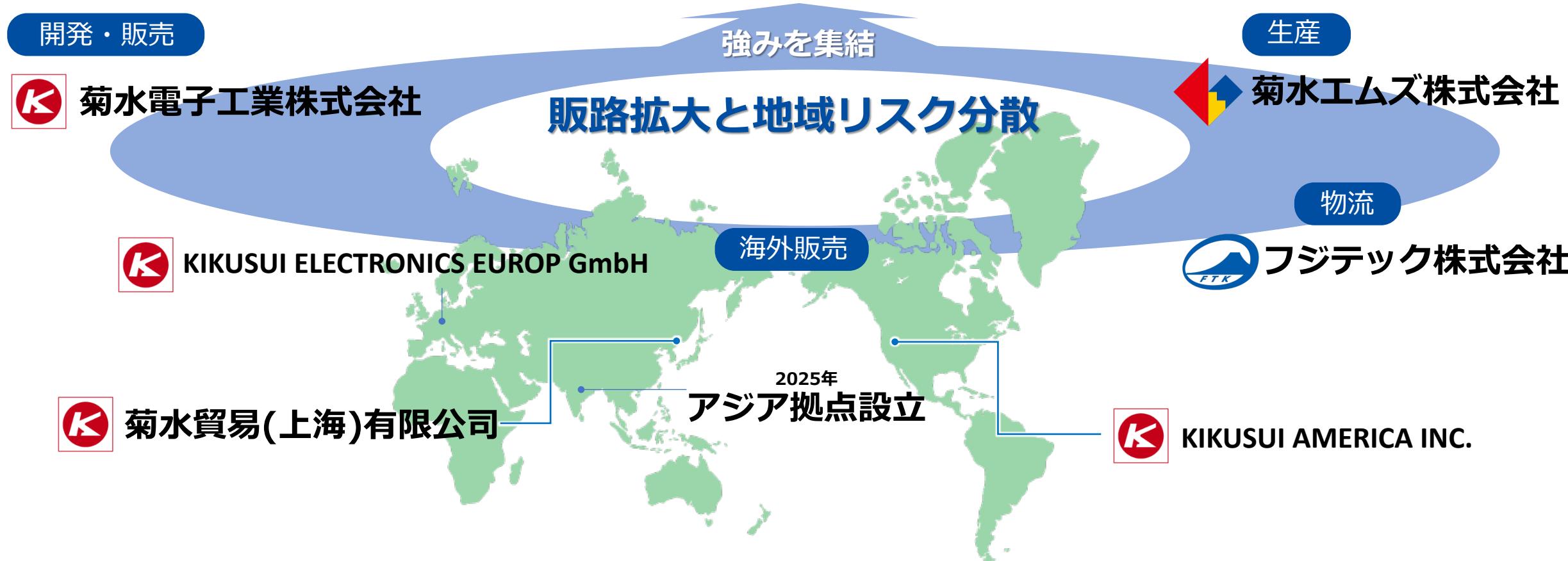
# 前中期経営計画の振り返り (2023年3月期-2025年3月期)



2025年3月期の売上高は13,429百万円、経常利益は2,122百万円となり、過去最高を更新いたしました。

2023年3月期の海外売上比率は48.3%となり、過去最高を更新いたしました。

# 急速に変化する外部環境・経営環境を適切に捉え グループ各社の強みを活かす



# パワーエレクトロニクス分野の評価及び測定ソリューション

持続可能な社会の実現に向け、  
「eモビリティ」「次世代エネルギー」  
「パワー半導体」「データセンター」市場を  
中心としたパワーエレクトロニクス分野の  
評価技術と測定ソリューションを提供します。



## カーボンニュートラルへの貢献-電源機器-

電力回生型製品で消費電力を削減します。

高効率・大容量製品のラインナップを拡充し、  
二酸化炭素排出量の低減に貢献します。



回生型双方向直流電源  
PXBシリーズ



回生型電子負荷  
PXZシリーズ



回生型双方向交流電源  
PCR-WEAシリーズ



回生型双方向大容量直流電源  
ラックアップシステム

## カーボンニュートラルへの貢献-計測器-

カーボンニュートラル実現の核となる

電池の安全性試験に欠かせない安全関連試験器を提供します。



電気安全試験マルチアナライザ  
TOSシリーズ

# 経営の重要課題（マテリアリティ）

## マテリアリティ特定プロセス

### STEP1 課題の抽出

SDGs の目標を軸に、経営環境や事業状況の変化を踏まえ持続可能な成長のための課題を抽出

### STEP2 課題の分析・評価

当社グループが解決すべき課題を整理し、それぞれの重要性を評価

### STEP3 課題の優先順位づけ

取り組む課題の優先順位づけを行い、ESG/SDGs との相関関係を整理

### STEP4 判断結果の妥当性確認

取締役会にて妥当性を協議し、マテリアリティを特定

## マテリアリティ

E  
環境

- 脱炭素社会づくりをはじめ、環境負荷の最小化に貢献する
- ・地球温暖化対策への対応
  - ・循環型社会の構築への貢献

- ・CO2排出量の削減
- ・再生可能エネルギーの利用拡大
- ・廃棄物の適切な管理



S  
社会

- 多様な従業員が安心して働ける環境、成長を促す環境を整備する
- ・グループ人財育成
  - ・多様で柔軟な働き方の実現
  - ・健康/労働安全衛生
- お客様に新たな価値を創造し提供する
- ・技術革新による新たな価値の提供

- ・ダイバーシティ＆インクルージョンの推進
- ・心身ともに充実した職場環境づくり
- ・パワーエレクトロニクス分野への評価及び測定ソリューション
- ・環境負荷低減製品提供による環境貢献



G  
ガバナンス

- 確固たる経営基盤を構築し、ステークホルダからの信頼を高め、継続的な発展に取り組む
- ・グループガバナンス
  - ・コンプライアンス/リスクマネジメント
  - ・サプライチェーンマネジメント

- ・ガバナンス体制の強化
- ・法令を遵守し、高い倫理観を維持
- ・部材調達と製品供給を安定化



当社グループは、株主資本コストを6%前後と推定しております。営業取引先に対して有利子負債がありますが少額であり、金融機関からの借入を行っていないため、資本コストを株主資本コストと同等とみなしております。

中期経営計画2026年3月期-2028年3月期においては、持続的な事業戦略や資本政策によりROE11.0%を目指し、資本収益性を高めてまいります。

また、PBR（株価純資産倍率）は現状1倍を下回っており、資本市場から十分な評価をいただいていると認識しております。今後は、以下の株主還元策や積極的な情報開示の実施により、改善に努めてまいります。

## 【株主還元の実施】

### 配当政策

株主のみなさまへの利益還元の姿勢をより明確にするため、DOE（連結純資産配当率）2%以上を安定的な利益還元のベースとしたうえで、連結配当性向30%以上の利益還元を行なってまいります。

### 政策保有株式の機動的な対応

取引先との安定的・長期的な取引関係の維持・強化、事業上の協力関係等の観点から、中長期的な企業価値向上に資すると判断した場合に、株式の政策保有を行う方針であり、中長期的に見て資本コストに見合っているか等の経済合理性や当該取引先等との関係の維持・強化の観点からその保有効果等について定期的に検証し、取締役会にて保有の適否を判断しております。

議決権行使に関しては、発行会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に繋がるか否か、当社の中長期的な経済的利益が増大するか否かの観点から総合的に判断しております。

### 自己株式の取得及び消却

株主還元の充実と資本効率の改善を通じた企業価値の向上を目的に、業績や資本の状況、株価を含めた市場環境を考慮し、自己株式の取得を行なってまいりました。今後は保有する自己株式の上限を設定し、これを超える株式の消却を実施してまいります。

## 【積極的な情報開示】

株主・投資家の皆様からの信頼を高める事が重要と考えており、引き続き、株主・投資家の皆様の投資判断に資する情報開示を行なってまいります。

経営指標	2025年3月期 実績	2028年3月期 目標
売上高	134.2億円	147.0億円
経常利益	21.2億円	23.0億円
ROE (株主資本当期純利益率)	10.5%	11.0%
海外売上比率	34.2%	35.0%

2028年3月期の目標値は売上高は147.0億円、経常利益は23.0億円、ROEは11.0%、海外売上比率は35.0%といたしました。

## 【注意事項】

この資料の掲載事項は菊水ホールディングス株式会社の現在の計画、見通し、戦略です。

掲載された情報の誤りによって生じた障害などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようにお願いいたします。

## 【お問い合わせ先】

菊水ホールディングス株式会社 総務部

電話：045-482-6912 (代)

